

① 旅行業法及びこれに基づく命令

第1問 以下の問1.～問25.の各設問について該当するものを、それぞれの選択肢から一つ選びなさい。
(配点 4点×25)

問1. 次の(ア)～(エ)の記述から、旅行業法の目的として定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- (ア) 旅行業等を営む者が組織する団体の適正な活動の促進
- (イ) 旅行業等を営む者についての登録制度の実施
- (ウ) 旅行業等を営む者の公正な競争の維持
- (エ) 旅行業等を営む者の業務の適正な運営の確保

- a. (ア) (イ)
- b. (ア) (イ) (ウ) (エ)
- c. (ア) (イ) (エ)
- d. (イ) (ウ)

問2. 旅行業法の定義に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a. 旅行業者が、旅行者の募集のためにあらかじめ旅行に関する計画を作成し、当該計画に定める運送等サービスの提供に係る契約を自己の計算において運送等サービスを提供する者との間で締結し、この契約に基づいて旅行業務の取扱いに関し、旅行者と締結する契約は企画旅行契約である。
- b. 旅行に関する計画とは、旅行の目的地及び日程、旅行者が提供を受けることができる運送等サービスの内容並びに旅行者が支払うべき対価に関する事項を定めたものである。
- c. 旅行業者が旅行者の依頼により旅行に関する計画を作成し、自己の計算において運送等サービスを提供する者との間で運送等サービスの提供に係る契約を締結し、実施する旅行は企画旅行である。
- d. 旅行業者代理業とは、報酬を得て、所属旅行業者のために、法第2条第1項第1号から第8号までに掲げる行為について代理して契約を締結する行為を事業として行う者をいうが、この中には企画旅行契約を代理して締結する行為を事業として行う者は含まれない。

問3. 報酬を得て次の行為を事業として行う場合、旅行業等の登録を要しないものはどれか。

- a. 結婚式場が、挙式と海外への新婚旅行をセットにして申し込みを受け付け、挙式費用と旅行代金を一括して収受する行為。
- b. バス会社が、自社のバスを使用し、他人の経営する宿泊施設を利用して宿泊を伴う旅行を募集し実施する行為。
- c. 他人の経営する宿泊施設を利用して、旅行者に対して宿泊のサービスを提供する行為。
- d. 旅館の経営者が、自ら経営する旅館の宿泊プランを、インターネットを利用して販売する行為。

問7. 営業保証金に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 営業保証金の額は、前事業年度における旅行業務に関する旅行者との取引の額に基づき算定されるが、これには当該旅行者に所属する旅行者代理業者の取り扱った旅行者との取引の額を含めることを要しない。
- b. 旅行者代理業者は、所属旅行者を通じて営業保証金を当該旅行者代理業者の主たる営業所の最寄りの供託所に供託しなければならない。
- c. 第3種旅行業の登録を受けた者が供託すべき営業保証金の最低額は250万円と定められている。
- d. 旅行者又は当該旅行者を所属旅行者とする旅行者代理業者との旅行業務に関する取引によって生じた債権に関し、当該旅行者が供託している営業保証金について、その債権の弁済を受ける権利を有する者は旅行者に限定される。

問8. 旅行業務取扱管理者の職務に関する次の記述のうち、管理及び監督しなければならない事務として定められていないものはどれか。

- a. 旅行業約款の掲示及び備置きに関する事項
- b. 旅行業務の取扱いの料金の掲示に関する事項
- c. 標識の掲示に関する事項
- d. 書面の交付に関する事項

問9. 旅行業務取扱管理者に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 旅行業務取扱管理者試験に合格した者は、国土交通省令で定める様式による証明書を携帯しなければならない。
- b. 旅行業務に従事した経験が5年未満である者を旅行業務取扱管理者として選任することはできない。
- c. 旅行者等は、その営業所の旅行業務取扱管理者として選任した者のすべてが欠けるにいたったときは、新たに旅行業務取扱管理者を選任するまでの間は、その営業所において一切の旅行業務を取り扱ってはならない。
- d. 旅行者等は、旅行業務取扱管理者について、旅行業協会が実施する研修を受けさせること等により、旅行業務取扱管理者の職務に関し必要な知識及び能力の向上を図るよう努めなければならない。

問 10. 旅行業務の取扱いの料金（企画旅行に係るものを除く。）に関する次の記述のうち、正しいものを選びなさい。

- a. 旅行業者は、旅行者から收受する旅行業務の取扱いの料金の額を変更したときは、遅滞なく登録行政庁に届け出なければならない。
- b. 旅行業務の取扱いの料金は、契約の種類及び内容に応じて定率、定額その他の方法により定められ、旅行者にとって明確なものでなければならない。
- c. 旅行業者は、事業の開始前に、旅行者から收受する旅行業務の取扱いの料金を定め、登録行政庁へ届け出なければならない。
- d. 旅行業者代理業者は、所属旅行業者が定めた旅行業務の取扱いの料金の範囲内で独自に旅行業務の取扱いの料金を定めることができる。

問 11. 旅行業約款に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 保証社員は、その旅行業約款に当該保証社員に係る弁済業務保証金からの弁済限度額を明示しておかなければならない。
- b. 旅行業者は、国土交通大臣が定めて公示した標準旅行業約款よりも旅行者にとって有利な内容の旅行業約款を定めたときは、その約款について登録行政庁の認可を受けることを要しない。
- c. 旅行業者等は、他の旅行業者を代理して企画旅行契約（参加する旅行者の募集をすることにより実施する企画旅行に係るものに限る。）を締結する場合にあっては、当該他の旅行業者の旅行業約款をその営業所において掲示し、又は備え置くことを要しない。
- d. 旅行業者代理業者が定める旅行業約款の認可は、当該旅行業者代理業者の主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事がおこなう。

問 12. 取引条件の説明（書面）に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a. 旅行業者等は、政令で定めるところにより、旅行者の承諾を得て、取引条件の説明書面に記載すべき事項を国土交通省令で定める情報通信の技術を利用する方法により提供することができる。この場合において、当該旅行業者等は、当該書面を交付したものとみなす。
- b. 旅行業者等は、対価と引換えに旅行に関するサービスの提供を受ける権利を表示した書面を交付する場合であっても、旅行者に取引条件の説明書面を交付しなければならない。
- c. 旅行業者は、旅行に関する相談に応ずる行為に係る旅行業務について契約を締結しようとする場合にあっては、旅行者が旅行業者に支払うべき対価及びその收受の方法と、その対価によって提供を受けることができる旅行に関するサービスの内容について、旅行者に説明しなければならない。
- d. 旅行業者等は、企画旅行契約を締結しようとする場合は、旅行者の依頼があれば当該契約に係る旅行業務取扱管理者が最終的には説明を行なう旨を、取引条件の説明書面に記載しなければならない。

問 19. 企画旅行の円滑な実施のための措置に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a. 参加する旅行者を募集することにより実施する企画旅行においては、当該旅行者に旅程管理義務が課せられるが、旅行者からの依頼により旅行計画を作成し実施する企画旅行には旅程管理義務は課せられていない。
- b. 本邦内の旅行であって、旅行者に契約の締結前にその旨を説明し、かつ、当該旅行に関する計画に定めるサービスの提供を受ける権利を表示した書面を交付した場合は、当該サービスの内容の変更を必要とする事由が生じた場合における代替サービスの手配及び当該サービスの提供を受けるために必要な手続きの実施その他の措置を講じなくてもよい。
- c. 旅行に関する計画における2人以上の旅行者が同一の日程により行動することを要する区間における円滑な旅行の実施を確保するために必要な集合時刻、集合場所その他の事項に関する指示を行わなければならない。
- d. 旅行に関する計画に定めるサービスの旅行者への確実な提供を確保するために旅行の開始前に必要な予約その他の措置を講じなければならない。

問 20. 次の（ア）～（エ）の記述から、旅行者等がしてはならない行為（禁止行為等）にあたるもののみをすべて選んでいるものはどれか。

（ア） 営業の貸渡しの方法をもって、旅行業又は旅行者代理業を他人にその名において経営させる行為

（イ） 取引に関する重要な事項について、故意に事実を告げず、又は不実のことを告げる行為

（ウ） 旅行者に対し、旅行地において特定のサービスの提供を受けること又は特定の物品を購入することを強要する行為

（エ） 旅行者に対し、旅行地において施行されている法令に違反するサービスの提供を受けることをあっせんし、又はその提供を受けることに関し便宜を供与する行為

- a. （ア）（イ）（ウ）
- b. （ア）（イ）（エ）
- c. （イ）（ウ）（エ）
- d. （ア）（イ）（ウ）（エ）

問 21. 受託契約に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 旅行者代理業者は、所属旅行者の承諾を得れば、他の旅行者と直接受託契約を締結することができる。
- b. 委託旅行者と受託契約を締結した受託旅行者を所属旅行者とする全ての旅行者代理業者は、当然に委託旅行者を代理して企画旅行契約（参加する旅行者の募集をすることにより実施する企画旅行に係るものに限る。）を締結することができる。
- c. 第3種旅行者は、第1種旅行者の受託旅行者となることができる。
- d. 委託旅行者と企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。）の受託契約を締結した受託旅行者は、他の旅行者と契約を交わすことにより、当該他の旅行者に受託契約の再委託をすることができる。

問 22. 旅行業者代理業者に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 旅行業者代理業者は自ら登録申請をすることが認められておらず、所属旅行業者となるべき旅行業者が代わりに登録申請を行う。
- b. 旅行業者代理業者の登録の有効期間は、登録の日から起算して5年である。
- c. 所属旅行業者は、常に、その旅行業者代理業者が旅行業務につき旅行者に加えた損害を、賠償しなければならない。
- d. 旅行業者代理業者は、その行う営業が旅行業であると誤認させ、又は所属旅行業者を誤認させるような表示、広告その他の行為をしてはならない。

問 23. 登録行政庁が旅行業者等に命ずることができる措置（業務改善命令）として定められていないものはどれか。

- a. 旅程管理業務を行なう主任の者を解任すること
- b. 業務の運営の改善に必要な措置をとること
- c. 旅行業約款を変更すること
- d. 旅行者に生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することができる保険契約を締結すること

問 24. 次の旅行業協会の業務に関する（ア）～（エ）の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- （ア） 旅行業務に関する取引の公正の確保又は旅行業及び旅行業者代理業者の健全な発達を図るための調査、研究及び広報
- （イ） 社員である旅行業者又は当該旅行業者を所属旅行業者とする旅行業者代理業者のみを対象として実施する旅行業務の取扱いに従事する者に対する研修
- （ウ） 旅行業務に関し社員である旅行業者又は当該旅行業者を所属旅行業者とする旅行業者代理業者と取引をした旅行者に対しその取引によって生じた債権に関し弁済をする業務
- （エ） 旅行業務の適切な運営を確保するための旅行業者等に対する指導

- a. （ア）（ウ）（エ）
- b. （ア）（イ）（ウ）
- c. （イ）（ウ）（エ）
- d. （ア）（イ）（ウ）（エ）

問 25. 旅行業協会が行なう苦情の解決に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 旅行業協会は、社員以外の旅行者等が取り扱った旅行業務に関する旅行者からの苦情についても、解決の申出があったときは、その相談に応じなければならない。
- b. 旅行業協会は、旅行者等が取り扱った旅行業務にかかる旅行者からの苦情の解決については、当該旅行者等に対して必ず文書もしくは口頭による説明を求め、又は資料の提出を求めなければならない。
- c. 社員は、旅行業協会から苦情の解決について必要な資料の提出を求められたときは、必ずこれに応じなければならない。
- d. 旅行業協会は、旅行業務に関する苦情の解決についての申出、当該苦情に係る事情及びその解決の結果について全ての旅行者等に周知させなければならない。